

阪急阪神ホールディングス株式会社第68回無担保社債（社債間限定同順位特約付） （グリーンボンド）レポート結果（2025年3月末日時点）

1. グリーンボンドの概要

名称	阪急阪神ホールディングス株式会社第68回無担保社債 （社債間限定同順位特約付）（グリーンボンド） （別称：阪急阪神ホールディングス第1回グリーンボンド）
発行総額	150億円
発行年限	5年
利率	年0.592%
条件決定日/払込日	2024年2月22日/2024年2月29日
償還日	2029年2月28日
取得格付	AA（JCR）、AA-（R&I）
評価機関	JCR

2. 資金充当状況

2024年2月29日発行の本サステナビリティボンドによって調達された資金は、下表のとおり全額
充当済みとなっており、未充当残高はございません。

適格プロジェクト	資金充当額	未充当残高	該当プロジェクト
グリーンビルディング	150億円	—	グラングリーン大阪
生物多様性/自然景観への配慮			

※調達資金のうちリファイナンスの割合：70%

3. インパクトレポート

グリーンビルディング		
レポート項目	2025年度（2025年4月～2026年3月）	
・総床面積当たりのエネルギー年間使用量	2026年7月開示予定（※1）	
・総床面積当たりの年間二酸化炭素排出量	2026年7月開示予定（※1）	
・総床面積当たりの年間水資源使用量	2026年7月開示予定（※1）	
・年間の再生水利用量	2026年7月開示予定（※1）	
【認証等の取得状況】		
・LEED-ND プラン認証（GOLD 評価）		
・DBJ Green Building 認証5つ星		
・CASBEE 大阪みらいSランク		
・SITES 予備認証（GOLD 評価）		
・ZEB Oriented 認証（事務所部分）		

（※1）グラングリーン大阪は、2024年9月に先行まちびらき（「うめきた公園」の一部及び北館）を迎え、2025年3月に南館がグランドオープンしました。現時点で正確な環境効果を測定することが難しいため、2025年度の数値が確定する2026年7月に更新予定です。

生物多様性/自然景観への配慮

(1) 都市部における緑地の整備規模 (m²)

2025年3月末時点の緑地整備面積は21,600m²程度です。2027年度に予定している全体まちびらきの際には、地区面積約91,000m²の3分の1となる約30,000m²において、約320種（在来種約270種類を含む）、1,500本以上の樹木で多様な緑地を形成し、西日本最大のターミナル駅前に圧倒的なみどり空間を創出します。

(2) 生態系の保全・環境に配慮したろ過循環装置の設置状況

うめきた公園後行工区（ノースパークの一部）開業（2027年春頃）の際に、設置する予定です。

(3) 生態系の保全・保護に配慮した食餌植物の植栽状況

2025年3月末時点で39種類以上の食餌植物を植栽しています。大阪の生物ネットワークの形成に寄与し、都心の一等地に多様な生物が生息する環境を整えることで、来訪者が生物と触れ合う機会を提供します。

以上